

NPO北海道勤労者安全衛生センター 第2回総会

メンタルヘルス改善とマネジメントシステムの普及を重点に

新理事長に熊澤裕幸連合北海道副会長（情報労連）が就任

4月26日、札幌市内で当センターの第2回総会が開催され、初年度の総括と2012年度の活動方針が決定されました。（総括と方針はジャーナル80号で会員に周知されています）

総括では、社団法人から受け継いだ活動を予定通りに実施したほか、自治労10万人パワハラアンケートを参考にした「公務職場のパワハラアンケート」など、メンタルヘルス改善に向けた取り組みも強化しました。また、活動方針では、全国平均を上回っている道内の労災発生に対処するため、OSHMS（労働安全衛生マネジメントシステム）の普及に努めるとともに、気分障害による受診が100万人を超えるメンタルヘルス問題を改善するために、資料の改訂や学習会を組織するなどの重点的な取り組みを決定しました。

その他、役員の一部改選が行われ、連合北海道の会長に就任された工藤和男前理事長に代わって、熊澤裕幸新理事長の就任と理事・監事の補充が決定されました。

安全衛生担当者会議

「原則通りの安全衛生委員会運営が活性化のカギ」



第2回総会が終わったのち、「安全衛生委員会の活性化」をテーマに安全衛生担当者会議が開催されました。

まず、ビデオ「リフレッシュ 安全衛生委員会」を見て、ある職場における安全衛生委員会の実際と、それを改善しようと頑張る担当者の活動を見ました。このビデオの要点は、安全衛生委員会にプロジェクトチームや小委員会を設けて構成メンバーが全体決定に必要な案件を集中的に議論するシステムを作ること

が活性化につながるという例が示されていました。このビデオ（DVD）は当センターにあります。

続いて、(財)北海道労働保健管理協会 医療本部長・参与で、産業医を指導されている 労働衛生コンサルタントの清田典宏医師が「産業医から見た安全衛生委員会」と題しながら、産業医選任に関するケースや実際に清田先生が当面した問題を取り上げて参加者に質問するなど、安全衛生委員会の構成や事務局の責務などに関する基本的な理解の大切さについて指導いただきました。清田先生もビデオにあ

った「小委員会方式」は活性化に有効であるとの考えを述べられました。

講座Ⅲは「安全衛生委員会の現状と問題点」と題して、当センターの松浦事務局長がビデオと清田先生のお話を参照しつつ、連合第7回安全衛生調査における委員会の実態や問題点の調査結果について解説したのち、安全衛生委員会の法定基準や担当者がどこでも悩んでいる問題について、特に定例開催や議題の整理、運営方法について、労働安全の月刊誌から得たヒントについて問題提起しました。

連合第7回安全衛生調査によると、安全衛生委員会が設置されているのは法定基準（おおむね50人以上）を超えていますが、定期開催では官民で大きく違う（民8割・官5割）ことや、委員の知識不足が大きな問題であること、産業医は8割が選任しているが、職場巡視がほとんどされていないことなどの問題点が示されています。

一方、悩み多い委員会の活性化では、先ほどの小委員会が有効であることのほか、年間計画をきちんと作成して月間テーマを明確にすることや、事務局による事前の整理と現場からの発言（労組からの指摘）が重要であることなどが提起されましたが、要するに「コレ」と言った有効策などではなく、キホンをいかに理解して守るかに回帰するということです。

このテーマについてアイデアをお持ちの方はご意見をお寄せください。

「職場のメンタルヘルスを改善するために」改訂版を発行しました

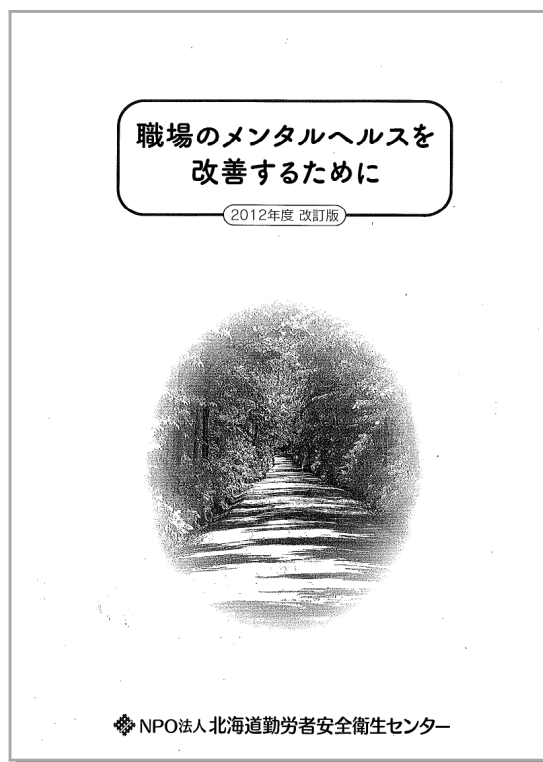
ストレスやハラスメントも解説 学習会をしませんか？

2010年に「講演集」として発行した冊子の改訂版ができました。あれから2年たち、メンタルヘルス問題はさらに大きな問題となってきていますが、今回の改訂では、ストレスのコントロールやハラスメント、発達障害、新しい精神労災認定基準を書き加えています。

目次の構成は以下の通りです。

1. 職場におけるメンタルヘルスの現状と理解度
2. 「ストレス」を理解しよう
3. うつ病について
4. 職場の対応と復帰に向けた対処
5. ハラスメント
6. 発達障害と職場
7. その他の神経症状の知識
8. メンタルに関わる法律と労災補償
9. メンタルの背景と取り組み
10. 資料～復職診断書、ADHDチェックリスト、自閉症スペクトラム指数、職場の組織機能チェック票 など

すでに当センターの会員（産別・労働福祉団体等）には発送済みですが、この冊子を解説する学習会の開催を呼びかけています。ぜひご相談ください。（電話 011-272-8855）



被害はこれからピークを迎えます

石綿関連疾病の労災認定と被害者補償については、昨年8月に石綿健康被害救済法が改正されて救済期間が10年延長されましたが、それに次いで、今年3月29日に石綿労災の認定基準が改定されました。

それによると、中皮腫に比べ労災認定率が低い肺がんについて、①原発性の肺がん、②曝露歴10年以上に加え、広範囲の胸膜プラーク（胸膜の1/4以上）は従事歴1年以上、石綿製品製造・吹きつけ等は従事歴5年以上の場合は医学的所見不要となりました。また、びまん性胸膜肥厚については、「最も厚いところが5mm以上あり」の厚さ要件が無くなりました。

2005年、兵庫県尼崎市のクボタ工場の従業員アスベスト労災記事が、周辺住民にもアスベスト被害があることを公表し、全国的に社会的な大問題になりました。

アスベスト（石綿）については、70年代から発ガン性が指摘され、欧米ではアスベストからの撤退がはじまりましたが、日本では、完全使用禁止は2004年と相当遅れてしまいました。日本のアスベストは、ほとんどが輸入であり、国産は戦争で輸入が途絶えた短期間に、北海道の山部や九州で産出した程度です。

しかし、高度成長とともに数千の生産物・製品にアスベストが、成分として、あるいは、ボイラー等の断熱・不燃対策物として、さらに、鉄骨など構造物の防錆・吹きつけ材として、北海道では住宅の断熱・配管の防露（結露防止）などとしても使用されてきました。学校のチョークはタルク（滑石）を成形したのですが、その中にもアスベストが混入していました。国内で費消されたアスベストの総量は1千万トンといわれています。

アスベスト、石綿は燃えませんが、分解することはありません。したがって、その1千万トンは、いまもどこかに存在し続けています。ゴミ堆積場かもしれません。古い家屋の壁の中かもしれません。体育館等の吹きつけの中かもしれません。屋根や壁のスレートかもしれません。廃船の解体でも出てきます。古いボイラー・暖房設備や古い豆炭アンカにも。

そして、アスベスト・石綿を原因とする疾患は潜伏期間が40年以上と長いため、70年代のピークにアスベストに曝露した労働者が、中皮腫や原発性肺がんなどを発症するのはこれからがピークとなります。英国では中皮腫の死亡数は、いま急激に増加していて、2020年代がピークとなる予測となっています。日本でも2030年頃にピークを迎えます。

北海道のアスベスト労災は、表のようにH21年度までの集計ですが、109企業で、130件、うち死亡は43件となっていますし、2006年の石綿救済法による時効救済は19件です。北海道の主な企業でアスベスト被害が出ていて、札幌はもちろん、胆振・渡島などで多く、むしろあらゆる業種で中皮腫が出ています。

<メンタルひとくち講座 1> 春は変化に要注意

3月から5月にかけては、実は一番メンタルヘルスには要注意です。なぜなら年間で一番「変化」が多いからです。身体はその変化になれるために多大なエネルギーを使います。

まず気温の変化で自律神経のバランスを崩しやすい。胃腸系の不調を招きやすいのです。また、春はいろいろな異動の時期でもあります。新しい人との接触は当然こころの緊張度を高めます。「過緊張」になることも考えられます。職場だけでなく、私生活も転勤や子供の入学・卒業と行事が続き、過労を招きやすいのです。

それに対処するために、「緩みタイム」をいつもより増やすことや、タンパク質を多く取ることや緑黄色野菜、海藻などを多く採ります。アルコールや炭酸飲料は控えめに。普段より多めに睡眠を取ることも大事です。

NPO 北海道勤労者安全衛生センター 役員体制

役職名	氏 名	所 属	備考
理事長	熊澤 裕幸	連合北海道	非常勤・新任
副理事長	大場 博之	労働金庫	非常勤
副理事長	中司 誠	全 労 済	非常勤
副理事長	伝法 政喜	医療生協	非常勤
副理事長	渡辺 直志	連合北海道	非常勤・新任
専務理事	滝沢 弘	労 福 協	非常勤
常務理事	永田 重人	連合北海道	非常勤・新任
事務局長	松浦 俊一	連合北海道	非常勤(常駐)
理 事	高倉 司	国公連合(全開発)	非常勤
理 事	大井 一峰	JP労組	非常勤
理 事	外山 保浩	森林労連	非常勤・新任
理 事	平田 豊	基幹労連	非常勤
理 事	川代 明博	医療生協	非常勤
理 事	山谷 一夫	北教組	非常勤
理 事	竹下 満夫	全造船機械	非常勤・新任
理 事	高本 賢一	情報労連	非常勤
理 事	山田 新吾	運輸労連	非常勤
理 事	萩谷 貞雄	私鉄総連	非常勤
理 事	衛藤 謙司	UIゼンセン同盟	非常勤
理 事	中野渡 智	自治労	非常勤
理 事	金野 鉄夫	電力総連	非常勤
理 事	富山 隆	北海道高齢・退職者連合	非常勤・新任
監 事	高橋 健一	全 水 道	非常勤
監 事	菊地 光夫	住宅生協	非常勤・新任

<メンタルひとくち講座 2> 自分の顔を見る

まじまじと自分の顔を見えていますか？忙しい朝に顔をプルプルと洗って終わりとなっていないですか？「いつもと違う自分に気付く」ためには、たまに自分の顔をよく見ることが重要です。ストレスを上手にはねのけて過ごすためにも自分の顔の表情を気にすることです。

顔の筋肉は他と同じで使わないと衰えます。表情が豊かな人は残念ながらシワは増えてしましますが、顔のたるみはできにくく、「老け顔」にならないと言われています。

表情をつくるために顔の筋肉を動かす方法は、「目をぱっちり開けて“あいうえお”と口元をはっきり動かす」「目と口を閉じて顔の中心にシワをつくる」「目と口を大きく開ける」「眉を上げて額にシワをつくる」「ヒョットコ顔をつくる(口を前に突き出す)」「恥ずかしがらずにすてきな笑顔を作る」です。

